

しらすぎ
 しらすぎ保育園
 VOL54 NO.3
 (通巻 637号)

<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

防災についてみんなで学ぼう

園長 秋保めぐみ

地球温暖化の影響なのか日本に上陸する台風や大雨が年々強さを増し、また各地で地震が報じられ自然災害に対しての不安が募るばかりです。当園では月に1回避難訓練(火災)、年3回地震訓練、年1回不審者訓練を行っています。いつ起こるか分からない災害の対策をたて、マニュアルを作り子どもたちを守っていかねばなりません。経験していないことをイメージするのは難しいので、今回は災害タペストリー(くまさん一家をモデルにして台風、地震、津波の3種類の災害を知るためにシアター形式で表現するもの)を使って、地震について子どもたちに知らせていきます。

いざという時にどうしたら自分で自分の身を守る行動ができるのかということ子どもたちと共に考えていきます。

6月のテーマ「つよいからだ」

当園は、「やさしいところとつよいからだ」を保育目標としています。今月は「つよいからだ」になるためにはどうしたら良いのかを、みんなで考えます。すみれ、ばら、ゆり組の子どもたちは虫歯予防に歯磨きをすることや、好き嫌いをせずに食べること等、絵本を見たり話し合ったりしながら色々な意見を引出します。たんぽぽ、もも、さくら組は絵本の読み聞かせをして楽しく考えていきます。

*6月は全クラス統一のテーマです。

新人の声

たんぽぽ組(0才児) 酒井 美奈子

私は、現在3人の子育て奮闘中です。仕事、家事、育児、毎日大変です。しんどい時こそ、周りに目を向け、楽しいことを探す!!何でも楽しもう!!と思いながら、日々頑張っています。しらすぎ保育園の子どもたちと、たくさん楽しいことを見つけて、成長を見守ろうと思っています。よろしく願いします。

さくら組(2才児) 森元 莉奈

4月からしらすぎ保育園でお世話になっております。以前は色々な保育園で働いていました。その中で数字や漢字など教育に力を入れている園がありました。どこか堅苦しい印象でした。しらすぎ保育園は子どもたちが本当にのびのびとしていて、私自身も楽しく仕事をしております。子どもたちと笑顔で元気に過ごしていきます。よろしく願いします。

《食育》～野菜を植えよう～

昨年は新型コロナウイルス感染症予防のため食育の活動がほとんどできませんでした。今年度は各クラス、野菜の苗を植えることができ、どのクラスも楽しそうでした。苗を植えた時のかわいいつぶやきや様子を紹介します。

ゆり組 《オクラ・ミニトマト・つるなしいんげん》

- ・土をプランターに入れながら「たくさん土を入れないといけないから大変」「じゃあ私が入れてあげるね」
- ・苗を見て「どんなにおいがするかな?」「草のにおいがする～」



ばら組 《きゅうり・ピーマン》

プランターに土を入れる時…「ガンバレ!!ガンバレ!!」とみんなで応援。スコップを両手で持ったり片手で持ったり一生懸命でした。

さくら組 《ミニトマト・ナス》

- ・苗を植えてすぐに「大きくな～れ」と水やりをして魔法をかけると「あっできた!」そんな早くはできないね。まだ早いね。
- ・「ミニトマト」違うよ「ミニトマト」と子ども同士でやり取り。



もも組 《ミニひまわり》

小さなかわいい手を口にあてて「大きくな～れ、大きくな～れ」と願いを込めて言いました。

すみれ組 《ピーマン・ナス》

保育者:これは何の野菜の苗でしょう?

Aちゃん:小松菜!

Bくん:人参!

Cくん:パン

Aちゃん:パンは野菜じゃないよね

★正解はピーマンとナスでした!!



6月のプラン

15日(火) 弁当日

16日(水) 防災訓練(地震)

17日(木) 交通安全教室

*10日歯科検診 延期

《園庭開放 中止》

＜編集後記＞

今年の梅雨入りは例年より早く5月16日に宣言されました。傘は西洋の貴婦人が日除け用として使っていたのが始まりだそうです。次第に広がり雨傘としても使われるようになったようです。日本では雨除けとして使われたのは江戸時代。それまでは「かさじぞう」のお話でおなじみのかぶる笠だったとか。雨が降ると子どもたちは「傘をさしてきた」「カッパ着てきた」と嬉しそうに教えてくれます。なかなか園庭で遊べない日が続きますが、室内でも楽しく過ごせるように工夫していきます。(安養寺)

＜今月の担当:安食美保・安養寺優奈・大家可菜＞